

20160626 「目からうろこが」使徒9：1-22

目標：よく知られていることわざを導入に用いてパウロの回心の出来事のあらすじを掴み、イエス様にどんなに反抗している人でも救われうることを知る。

聖句：「彼は地に倒れたが、その時『サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか』と呼びかける声を聞いた」（使徒9：4～5）

時間：10分

道具：ホワイトボード、ペン、

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：当教会は前回教区講壇交換でCSと大人礼拝を合流したため、エチオピアの宦官の話聞いていない。前々回のステパノとの対比を強調して進めたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	「目から鱗」ということわざを知っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている ・知らない ・今まで見えなかったことが分かるようになること 	<p>高学年の児童ならば、恐らく知っていると思われる。もし知らない子がいれば、併せて鱗とは何かも問う。</p> <p>答えにくいと思われ得るので、教師側で補足する。</p> <p>鱗の実物があれば、見せてあげたい。不透明な、目にちょうど入るくらいの大きさの薄片である。</p> <p>以下伝えるあらすじを記す。 サウロはダマスコへ、クリスチャンを迫害するため向かった。 道すがら栄光のイエス様と出会い、サウロは地面に倒れた。 ダマスコにいたアナニヤというクリスチャンにイエス様が現れ、サウロのところに意って祈るように命じた。 アナニヤが祈ると、サウロの目から鱗のようなものが落ちて、見えるようになった。 サウロは、イエスこそ救い主だと活発に宣べ伝え始めた。 サウロがのちのパウロであることを伝えると、得心の行く子供いるかと思われる。</p>
課題探究	6分	<p>どういう意味か知っていますか。</p> <p>今日は、このことわざのもとになったお話をします。</p> <p>先日お話したステパノさんの殉教の時、それをリードした人がいました。サウロと言う人です。</p> <p>サウロは、ユダヤ人の中でもリーダー的存在でした。クリスチャンをそのままにしていたら、大変なことになると、この時ただ一人気付いていたのだと言われています。</p>		
まとめ	2分	<p>教会は、ステパノの殉教の後、サウロを得たことになりました。</p> <p>彼は、特に異邦人への伝道に取り組みました。</p> <p>そのおかげで私達にも福音が伝えられたのです。</p> <p>このサウロの回心の出来事は、たとえ迫害する人でも、救われうることを私たちに教えています。</p> <p>私たちが伝道する時、実はイエス様がまずその人に伝道しておられるのだと思います。</p> <p>暗誦聖句</p>		
				<p>身近にあった例を話しても良い。</p> <p>185号のテーマからの反映。</p>